

増税を当て込んだ「ひずみ」 消費税は社会保障財源にふさわしくない

今年から通年会期制になり、年に4回の定例会議のほかに、随時、議会が開かれるようになりました。今回は5件の議案が審議されました。

厚木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例

子ども・子育て支援法に基づき、保育料等の保育料を定めるもの。

子ども・子育て支援新制度が始まりました。保育所の待機児童を減らすためとして、目的の異なる保育所と幼稚園を一体化させることと、小規模保育を進めています。

今条例は国の基準額(限度額)に対して、厚木市はその61%としました。県平均を下回るものの、従来より保育料は上がっています。税額等による階層区分は22段階ですが、最高額は所得割50万4千円以上の世帯で月額68400円です。これまでの最高額は58000円でした。反対は日本共産党と市民の党。

厚木市介護条例の一部改正

平成27年度から29年度は第1号被保険者の保険料を、減免により26730円とするものです。

一般会計補正予算(第1号)

介護保険事業補正予算(第1号)

2月議会で平成27年度からの介護保険料が1.23倍に引き上げられました。第1段階(生保、所得合計80万円以下)は、基準額の0.5倍の29700円となりました。それをさらに0.05引き下げ2

今週の活動から



4月18・19日、厚木中央公園で「第41回厚木市緑のまつり」が開かれました。アルプホルンでオープニング。テーマは「小さな芽 大きく育て 緑あふれる 僕らの地球」依知中学校3年の岡本優斗さんの作です。

(上:栗山香代子議員)

4月18日(土)厚木革新懇主催で講演会が開かれました。表題は「戦後70年『戦争する国づくり』とのたたかい」。憲法制定直後から、アメリカが改憲要求をしてきたことが今の集団的自衛権につながっているなどの歴史を明らかにし、国民の求める日本、日本国憲法通りの本当の日本をつくるために運動をすすめる内容でした。



(下:釘丸久子議員)

「消費税は社会保障のため」としているものの、実際には社会保障が削られています。低所得者への影響が大きい消費税率の引き上げに頼るのでなく、財源についての深い議論をすべきです。

党議員団は反対しました。

10%への増税を延期した影響で、消費税増税分を当て込んでいた、軽自動車税や固定資産税・都市計画税の減も先延ばしとなりました。

厚木市市税条例の一部改正

原動機付自転車等への軽自動車税の税率を1年先延ばし、固定資産税と都市計画税の特例措置を3年延長するもの。

党議員団はこれらを指摘し、反対しました。

厚木市市税条例の一部改正

6730円になります。政府は当初、1300億円を投入して所得別の第1段階から3段階までの約1000万人を対象に、最大で70%を減免をする計画でした。ところが消費税10%の先送りを口実に対象を第1段階のみとし、軽減率を55%に止めたのです。

厚木市市民参加条例に基づく 平成27年度市民参加手続の実施予定

平成27年度は下記の条例改正、基本構想・計画等の改定について市民参加で行います。

対象行為	意見交換会	意向調査	パブリックコメント
(仮)厚木市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定	5月	—	6月
施設使用料見直しに伴う条例改正	実施済み	—	6月
厚木市個人情報保護条例の改正	5月	—	6月
厚木市印鑑条例の改正	7月	6月	9月
厚木市斎場条例・施行規則の改正	5月	5月	10月
厚木市子ども科学館条例施行規則の改正	—	5月	7月
厚木市排水施設構造等基準の改正	—	—	8月
雨水・曇霧施設設置基準の改正	—	—	11月
厚木市地域防災計画の改定	実施済み	実施済み	6月
第2次健康食育あつぎプランの策定	6月	—	12月
(仮)厚木市公共下水道事業地方公営企業法適用基本計画の策定	—	8月	11月
学校給食施設整備方針の策定	8月	8月	10月